令和８年度

中央公民館地域フォーラム開催結果

公民館地域フォーラムとは？

地域や利用者の皆様に、公民館の事業や運営などへの理解を深めていただくこと、そして皆様の意向を公民館運営に生かすため、自由に話し合い、共に考える集まりです。

＜概 要＞

日　時　　令和８年１０月２３日（金）１３時３０分～１５時
場　所　　中央公民館　第１学習室
参加者　　７人（公民館利用者、地域自治団体等）
進　行　　中央公民館

＜フォーラムの進め方＞

～公民館からの概要説明～

公民館の沿革、公民館の運営方針、利用状況、登録団体数、事業実績と計画、利用者アンケート結果などについて説明しました。



～公民館事業活動への意見交換～

概要説明、公民館事業活動、地域課題を学びに生かすこと等について意見交換しました。

＜ご意見等＞

〇公民館の事業活動について

・中央公民館は大人向けの事業だけでなく、青少年教育の「キッズチャレンジ」や「キッズフェスタ」等の取組があり、キッズチャレンジでは地域の方々が講師となり、子どもたちと一緒に楽しそうに料理をしている姿などを見させていただいて勉強になった。

・子どもたちの参加により、どんなつながりがあり、どのような楽しい活動ができるのか考える良い機会となった。

・朝日地区社会福祉協議会は、皆さんの力で人数が増えてきて、いろんな行事をさせていただいており、感謝している。

・旭川市の人口の約３割以上が６５歳以上の高齢者の方々がいるが、中央公民館を利用している高齢者の割合も高いと思う。朝日地区だけでなく市内各地区から利用されに来ていると思うが、その中には一人暮らしの方も多いと思われる。中央公民館では様々な催しをしているが、いかに参加して活動し、楽しい思いをしていただき、公民館を媒体に横のつながりで生活に潤いが出てくればと思っている。そういった中で朝日地区社会福祉協議会が公民館で熱心に活動してくれていることに感謝している。

・朝日地区には朝日小学校があるが、いざ地域で交流しようとなったときは、やはり公民館が主体にならないことには動かないことは、はっきりしている。

・中央公民館のホールで冬の活動をするときにコート掛けのスペースが十分でないので、コート掛けを増やしていただけたら助かる。

・私は百寿大学の学生ですが、ひと昔は学生が５０人以上いたが現在は３０人程度で、団体行動をすることに負担を感じる高齢者が多いのか、昔と比べると減ってきている。

・百寿大学で学習や運動をすることで認知機能の維持・向上に努め、少しでも社会に負担を掛けないようにすることが社会貢献になるのかなと考えている。

・階段の昇り降りは大変だが、中央公民館は古いのが取り柄で特徴だと思っている。公民館を存続いただき高齢者への学習支援をしていただけるのは非常にありがたいと思っている。

・地域食堂ひまわりでは、小学生の時の参加者が高校生になりボランティアで３回程、活動支援に来てくれ、大変嬉しかった。若い世代の学習機会にもなるので、一緒にして活動して良かったと感じられる機会を作っていくことも大事と思う。

・ボランティア活動に参加することで学校で評価されることもあるが、主催者としては勉強の機会を与えることにもなるし、学生らも参加して嬉しそうだったので、そのような取組を今後もできればと思う。

・公民館に集まることで、大切な地域内での普段の会話から人と活動の発展につながるし、これからも若い世代が公民館に集まる取組をしてほしい。

〇地域課題と地域が必要とする学びなどについて

・１０月３日に実施した朝日小学校での防災イベントは、中央公民館で炊き出し等の活動をして、朝日地区市民員会、朝日地区社会福祉協議会、朝日地区民生委員児童委員協議会等が共催・協力し、２００人近くが参加し、大盛況であった。中央地域包括支援センターでは中央公民館と共催で、ゆるっと学びの広場を実施しているが、頼れる身寄りのいない方が増えている今、つながりづくりが大切なので、今後も中央公民館と協力しながら進めていきたい。

・市民委員会は個々の町内会の集まりであり、行事を実施するとき参加者を集めいていくのは大変であるが、朝日地区社会福祉協議会、朝日地区市民員会、朝日地区民生委員児童委員協議会の３つの団体が腕を組んで活動している強みがある。そういった活動場所としての中央公民館の意義は大きく、利用者からはエアコンを付けてほしい等の小さな要望はありつつも、古い中央公民館がいつまで存続できるのか心配である。是非、長く継続していただきたいし、この３つの団体と中央公民館、その他各関係団体とこういった活動を通じて、もっと皆さんが参加し活動できる方法を考えていけたらと思う。

・建物の老朽化の問題で「この場所が無くなる」というような話が度々あるが、活動場所の公民館がなくなると、この地域のまとまりが無くなってしまう。何とかこの公民館を生き残らせることが朝日地区の生命線と思っている。

・そのことから、公民館でたくさんの人たちが交流して、「公民館に行って良かった」という声がたくさん出てくることが大事と考えている。ここに関わっている皆さんは大変な汗をかいておられるが、「良かった」というその一言を聞くために頑張っていて、これからも続けていきたい。

・地域課題として少子高齢化があるが、先日の防災イベントを見ると朝日地区の底力を感じた。他地区からも視察に来たり、「お手伝いに来ました」とか、終了後「防災イベント参加していたよ」等の声を掛けていただき、朝日地区が注目されているのと同時にあらゆる人を巻き込んでいく強さがあると実感した。

・公民館で子育てサロンを中心に活動している。地域の若い方や高齢者の方と関わることが多いが、表札がないお宅があったり、マンション等のセキュリティが厳格でコミュニケーションがとれないところがある。

・先日は一人暮らしの方が亡くなっていたが、すぐに発見できなかったケースがあった。少しでも近所の様子を見ながら、公民館に集まったときに「あの人どうしてる？」等と何気ない会話の中から、情報を共有できればと思っている。

・公民館の場所に着目している。朝日小学校と隣に立地しているということがすごく良いと思っている。例えば、公民館が他の場所に移転になったとすれば、地域の方が利用するのかなと疑問に思う。公民館が古くても小学校とセットになっているこの場所が好きである。

・地域のふれあい祭りは朝日小学校グランドで行うが、準備活動は公民館で行うし、先日の防災イベントも場所は朝日小学校で、公民館では打合せや豚汁準備等の活動を行った。そのようなつながりもあり、公民館での地域食堂ひまわりでは朝日小学校の子どもだけでなく、その保護者もたくさん参加してくれている。

・建物の老朽化についても、私は味があって良いと思うし、あえて段差の多い施設があっても良いのかなと思っている。

・朝日地区の防災イベントの話題があったが、シニア世代を支える若い世代も大事になってくる。普段日常の何気ない会話から地域のつながりに発展していくので、朝日小学校と中央公民館

がセットになっていることは、地域のつながりに寄与していると思う。

貴重なご意見、ご提言をいただき、誠にありがとうございました。
皆様のご意見につきましては、中央公民館の運営や事業活動に反映させるよう努めてまいります。
今後とも、中央公民館運営に、ご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。